

令和6年9月定例会会議録（第2号）

令和6年9月9日 月曜日 午前10時00分開議
鈴木 富美子 議長 金子 豊美 副議長

出席議員（16名）

1番	平井直之	議員	2番	鈴木英則	議員
3番	勝見英一朗	議員	4番	鈴木裕	議員
5番	鈴木悟司	議員	6番	鈴木一則	議員
7番	渡部正之	議員	8番	竹田陽一	議員
9番	内谷邦彦	議員	10番	渡部秀樹	議員
11番	浅野敏明	議員	12番	金子豊美	議員
13番	平進介	議員	14番	梅津善之	議員
15番	今泉春江	議員	16番	鈴木富美子	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内谷重治	市長	齋藤環樹	副市長
竹田利弘	政策推進参与	高石潤一	危機管理参与
新野弘明	総務参事兼地域づくり推進課長	梅津義徳	厚生参事兼福祉あんしん課長
渡邊恵子	総合政策課長	鈴木和夫	財政課長
青木邦博	技術参与	赤間茂樹	産業参事兼商工振興課長
佐藤久	建設参事兼上下水道課長	竹田洋	教育次長兼学校教育課長
渋谷和志	観光文化交流課長	高世潤	教育総務課長兼給食共同調理場長
渡部和喜子	福祉あんしん課長 長寿介護・地域包括支援センター担当課長		

事務局職員出席者

鈴木敏久	事務局長	小林克人	副主幹兼補佐
小阪桃子	議事調査主査	安達洋司	技士
市川明絵	主任		

議 事 日 程（第 2 号）

令和 6 年 9 月 9 日 月曜日 午前 1 0 時 0 0 分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

- 3 番 勝 見 英一朗 議員
- 4 番 鈴 木 裕 議員
- 9 番 内 谷 邦 彦 議員
- 1 番 平 井 直 之 議員
- 6 番 鈴 木 一 則 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第 2 号）に同じ

開 議

○鈴木富美子議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、ございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、土屋正人教育長から、本日の会議を欠席してほしい旨の届出がありましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○鈴木富美子議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は、答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、順次ご指名いたします。

勝見英一朗議員の質問

○鈴木富美子議長 順位1番、議席番号3番、勝見英一朗議員。

(3番勝見英一朗議員登壇)

○3番 勝見英一朗議員 政新長井の勝見です。最初の質問に入りますが、これは6月定例会の一般質問で取り上げました不登校児童生徒への

対応の延長線上にあるものとして質問させていただきます。

6月の際は、不登校及びその原因ともなり得るいじめについて、致芳学童クラブが小学校内に移ったことで児童の人間関係がよくなったということから、施設の複合化が望ましいと方向づけることを考えたのですが、その時点ではまだ本当に複合化がよいのか確信が持てませんでした。全国の公共施設の複合化を見ても、目的は効率化のためであって、真にスクール・コミュニティをつくろうとするものではないように思いましたし、スクール・コミュニティ自体もそれを標榜する自治体はあっても、実際は従来の学校と地域との連携の域を出ないもののように思いました。

そのようなことから、例えば小学校と学童クラブの複合化が望ましいのかを考えても確信が持てなかったのは、仕方なかったように思います。実際、本市が教育と地域づくりの大きな方向としてスクール・コミュニティを目指すとしながらも、まだまだイメージは描けていないというのが現実だと思います。このまま推移しても、スクール・コミュニティは掛け声だけに終わる可能性は高いと感じます。

一方、果たしてそれでいいのかとも考えました。やり方はあるのではないかと。では、どうすればスクール・コミュニティの姿を示せるのか。教育委員会がリードするのか、地域づくり推進課なのか、一般社団法人長井市コミュニティ協議会なのか、それとも学校が地域を巻き込むのか。どれを取っても長井市全体で進めるのは無理だろうと思います。何しろ大げさかもしれませんが、全国で参考とすべき例がないのですから、6地域が共通のイメージを持つことには無理があります。

本市らしいスクール・コミュニティをつくるというのであれば、小さなところから徐々に姿をつくっていくしかありません。幸いにして、